

新河岸川 広域景観 プロジェクト便

vol. 7

2009年11月11日発行



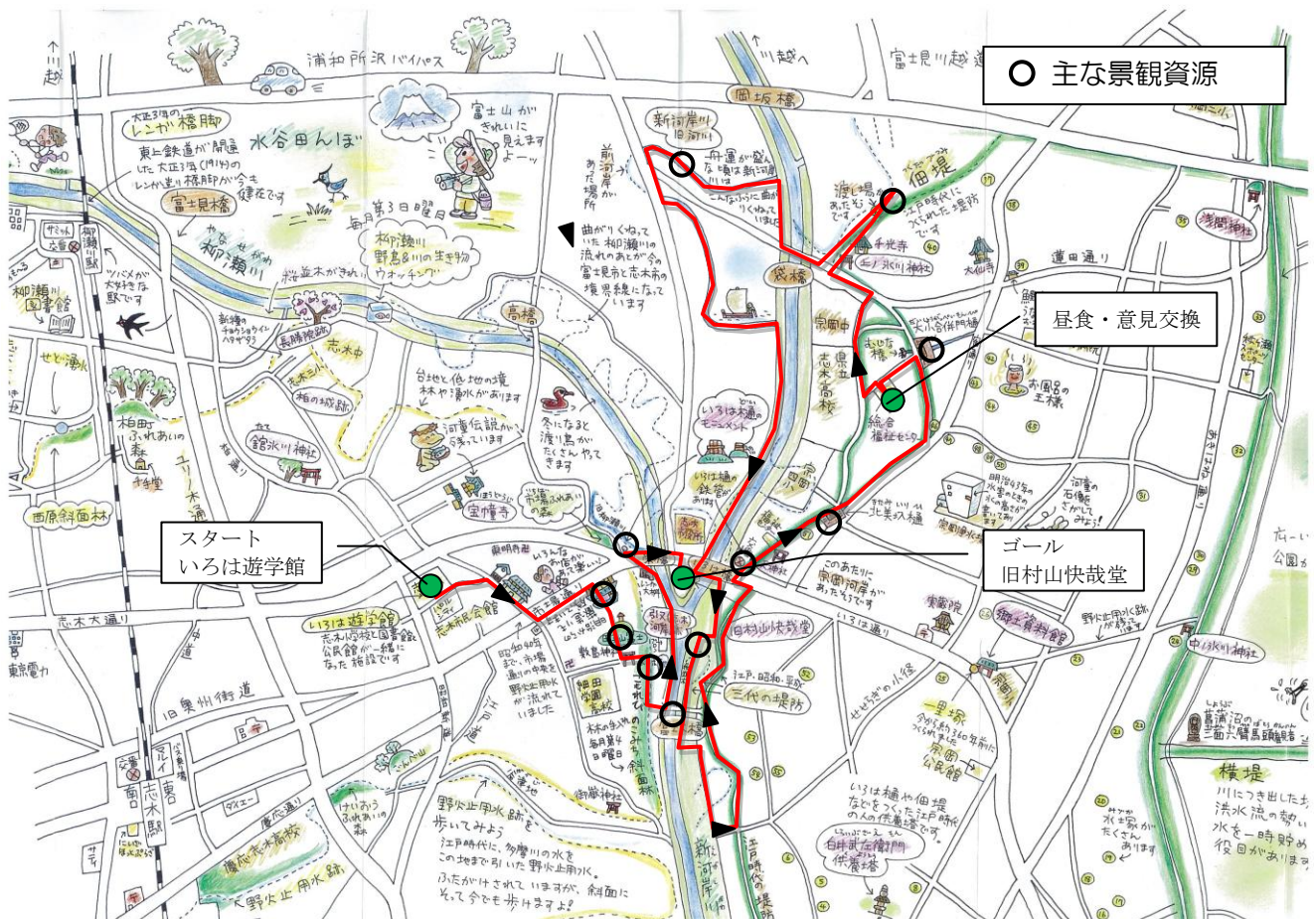
彩の国 埼玉県

11月1日(日) 10:00~15:30に、志木市内の新河岸川とその周辺を中心に「新河岸川広域景観プロジェクト景観かわ歩き(志木・富士見エリア)」を開催しました。(参加者41名)

今回のかわ歩きは、NPO法人エコシティ志木主催の「志木ぶらり散歩」と合同で実施しました。コースは、いろは遊学館をスタートして、敷島神社→こもれびのみち斜面林→旧村山快哉堂→三代の堤防→志木市総合福祉センター(昼食)→佃堤→袋橋→旧新河岸川周辺を経て、最後に旧村山快哉堂で解散しました。

当日は、秋晴れの中、3班に分かれて約10kmのコースを歩きました。エコシティ志木の天田さん、毛利さん、山崎さんを中心に、詳しく御説明をしていただき、新河岸川の景観についてより理解を深めることができました。

当日のコースマップ



※「志木ぶらり散歩マップ(NPO法人エコシティ志木製作)」より抜粋

新河岸川広域景観プロジェクトとは・・・

舟運で栄えた歴史ある新河岸川をモデルとしたプロジェクトにより多くの県民のみなさまが《景観》について関心を持ち、県民やNPOのみなさま、企業等と市、県が一体となり行動することで、埼玉の美しい景観を先導することを目的とします。

○景観かわ歩きでは、美しい景観づくりに向けて、具体的な取組のアイデアを考え、どう実現させるか考えていきます。また新河岸川の地域間の交流を図りながら取り組んでいきます。

○新河岸川の美しい景観をより多くの人に知っていただくためにPRを行っていきます。

景観かわ歩き

景観かわ歩きでは、昨年度作成した、新河岸川の「景観掘り起こしマップ」に記載されている「良い景観」「残念な景観」「景観資源」の場所を確認しながら歩きました。

現地を歩いてみると、新河岸川の特徴である斜面林や湧水などの場所では、台地と低地の境にあることやその高低差を肌で感じることができました。また、いろは橋や富士下橋から見た新河岸川の景観は、志木を代表する良い自然景観として見ることができました。そのほか、いろは樋、レンガの大枡、江戸・昭和・平成の三代の堤防、水塚など多くの歴史的な景観資源が残されていることを実感しました。

その後、昼食・休憩の時間を使って、参加者の皆さんが、実際に現地で見た感想や印象に残った「景観」について発表しました。

<かわ歩きの実施手順>

【STEP1】コースを歩く。五感を使って感じる。
「良い景観」「残念な景観」「景観資源」を確認。



【STEP2】感じたことを書き留める。
「景観評価シート」に評価とコメントを記入。



【STEP3】感じたことを人に伝える。
各班で意見・感想を話しあう。



【STEP4】良い景観について、みんなで共感する。
最後に班ごとに発表。



<昼食時に印象に残った景観（良い・残念等）について各班で話し合いました>

★市場通り

良い景観 市場通り沿いには歴史的建物があるので、地域活性化のために活用してはどうか。

歴史的な建物などは景観資源として、とても重要です。
地域の貴重な財産になります。

残念な景観 古い建物と自動販売機が合っていない。また古い建物が無くなっていくのが残念。どうやって保存をするか課題。

良い景観とは建物だけでなく、その周辺にも配慮したデザインが必要です。建物の保存活用について、地域、行政、団体それぞれの役割を考える必要があります。



★こもれびのみちの斜面林

良い景観 ほっとする空間。落ち葉がふかふかしている。人の手入れがされている所は、訪れる人に安心感をもたせることができます。

残念な景観 池に藻が生えているので水を循環させることはできないか。

湧水を活かし、より良い空間づくりができるといいですね。



★いろは樋の模型

残念な景観 模型の隣に石のいすがあるが木の枝が邪魔で座れない。

人が安心して休憩できるようなデザインに工夫が必要になります。



★江戸・昭和・平成の三代の堤防

良い景観 江戸・昭和・平成の三代にわたる堤防が並行している。各時代の治水思想を今に伝え、地域の歴史を感じる景観である。

地域の歴史・文化を伝える景観は大変貴重です。
その保全のほか、PRについても考える必要があります。



★水塚のある農家住宅

良い景観 水塚のある屋敷林は日当たりがあってほっとする。志木の歴史が感じられる。水と共存していた証である。

人の安らぎ、心が落ち着くところは「良い景観」と言えます。

残念な景観 古い建物が急速になくなっている。水塚の調査でどう残すか。個人では保存は難しい。

良い景観資源が残っていても、建物の相続や改修費用など課題があります。地域に併せた活用方法を考えましょう。



★史跡などの説明看板

残念な景観 説明看板がよく見えない。また字がかすれて読みづらい。

せっかく作っても、人に見えないと看板が役に立ちません。
訪れる人にどう見せるか考えて、また管理も継続的にする必要があります。



★終わりに各班の代表の方から出た意見

- ・歴史的財産を残して活用する。
- ・志木を象徴している水塚の活用。古い蔵が多く存在しているが、何もしないと、どんどん失われていく。
- ・地域住民、NPO 等団体、行政がどう連携するかが大事である。官民が連携した組織が必要である。
- ・特にいろは橋から下流を見たときの、斜面林、堤防、川が一体となった自然景観が素晴らしい。
- ・後世に何を残していくか議論が必要。

景観かわ歩きを通して、新河岸川の景観づくりに向けて、具体的な意見ができました。次にどのようなにつなげるか考えていきましょう！



平成21年度の活動計画

実施時期	事業名	事業の概要
H21.6.20	コアメンバー会議	・H21 プロジェクト活動計画（案）の検討
H21.7月 ～11月 まで	現地調査等	・景観かわ歩き（3回） 第1回 旭橋～養老橋周辺（9月5日） 第2回 いろは橋周辺（11月1日） 第3回 黒目川合流点～旧新倉河岸周辺（12月上旬予定） ・環境美化活動への参加 ・勉強会（現地調査の結果を踏まえ、必要に応じ、景観法などの活用について考える）
H21.12	フォーラム準備会議	・今年度の取組のまとめ、フォーラムの開催準備
H22.2	景観フォーラム	・今年度の取組の発表、景観に関する講演など
通年	景観サイクリングマップの作成	・和光市から川越市までの新河岸川のお勧めの景観を回るサイクリングマップの作成

※景観サイクリングマップは、新河岸川と景観プロジェクト（景観の再認識、課題整理等）のPRを目的に作成を進めています。作成については、参加市民団体の皆さまのご協力で、現在、現地調査を行っていただいております。ご協力ありがとうございます。



ご意見お待ち
しています。

埼玉県 都市整備部 田園都市づくり課
景観・屋外広告物担当

電話 048-830-5367（直通）

FAX 048-830-4879

Email a5540-01@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A10/BX00/keikanHP/shingashitop.html>